

2020年8月18日

学費（授業料・施設拡充費および設備維持費）について

神戸国際大学
学長 辻 正次

学費のあり方としましては、学生が入学してから卒業するためにかかる費用を、どの学次の学生にも平準化して納めていただくという趣旨で定められ、設計されています。自然災害等で、授業等が一時的に中断しても、在学期間全体で見べきものとして位置づけております。

学費の一部である授業料の用途としては、人件費、通信費、奨学費、実習にかかる費用、図書・研究教育活動機器備品の購入などが挙げられます。また、施設拡充費や設備維持費は学内情報通信システム（LAN）やコンピュータ教室の拡充・整備、体育館、食堂、空調、校舎・土地の維持管理にも支出されます。

新型コロナウイルスの影響により遠隔授業が主体となっている現在、キャンパス施設を十分に利用できないので、大学に対して学費の一部である授業料、施設拡充費および設備維持費の減額・返還についてのご質問をいただいております。

授業料については前述のとおり在学期間全体でかかる費用として平準化して納入していただくという趣旨を、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。また、施設拡充費と設備維持費は、施設利用料と理解されがちですが、前述のとおり施設設備の拡充、老朽施設設備の取替更新、既存施設設備の維持管理、その他学内における学習環境の整備充実に必要な費用として納付いただいております。

すでに対応いたしました遠隔授業実施に係る ICT 環境の拡充整備も、この施設拡充費および設備維持費から充当しています。神戸国際大学では学生の皆さんが快適に学べる学習環境や、クラブ・サークルなどの課外活動環境を提供するための施設設備の整備を計画的に進めおり、これらの費用を納入していただくことが、本学の教育研究活動全般を推進する上での前提となっています。今回は緊急学生支援策として、国費の支援金への推薦はもちろんのこと、大学への支援申請者に対して一律3万円を支給する支援を実施いたしました。加えてzoomを利用した遠隔授業や、先輩学生からの新入生へのアドバイスやクラブ勧誘を支援するためにノートパソコンを購入し、貸出を行っております。

以上の趣旨を、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。